



カバーストーリー

清津峡溪谷トンネル（新潟県）

新潟県十日町市の「清津峡」は、「黒部峡谷」（富山県）、「大杉谷」（三重県）とともに日本三大峡谷の一つに数えられています。

清津峡溪谷トンネルは全長750m、往復の所要時間は30分程度です。清津峡溪谷トンネルの一番奥はパノラマステーションがあり、水が張ってあります。端の方の水深が0.5～2cmと浅くなっている歩くことができます。順番待ちや進行方向の決まりはなく、自由に入って撮影見学ができます。

例年、11月下旬に初雪が降り、12月中旬には本格的な雪となります。粉雪で軽い雪質ですが、降雪量が多く、1日で1m以上積もることもあります。残雪は6月頃まで見ることができます。

オオセイボウ（大青蜂）

オオセイボウは大きさ2センチ程のセイボウ亜科のハチで、本州、四国、九州、沖縄に分布します。体表は緑から青にかけて美しい金属光沢が特徴で「宝石蜂」の異名を持ちます。毒針はないため、刺されることはありません。オオセイボウの青い色は、構造色と呼ばれる昆虫の発色の特徴のひとつで、体の色が青いのではなく、細かいくぼみが光を反射して、青から緑の美しい色に光らせています。タマムシの色もこの原理です。

目次

	○通達 2 令和7年度における建設業の安全衛生対策の推進について（要請）
	○行政の動き 7 熱中症対策が強化されます！「労働安全衛生規則の一部を改正する省令の概要」
	○労働者の健康管理 ハラスメント 第4回 14 担当案件の取上げ、罵倒等によりうつ病罹患、退職 労働判例研究者 君嶋 護男
	○元監督官が解説！「送検事例から学ぶ安全」 No 13 18 廃液処理設備の塗装工事中、有機溶剤中毒となり死亡。有機溶剤中毒防止のための必要な対策を講じなかった事業主が、安衛法違反で送検。 特定社会保険労務士 森井 博子
	○わが社の安全 20 都市部交差点直上での高速道路撤去工事における安全対策 20 ～空中で完結するPC橋梁撤去技術（オーバーザブリッジ工法）～ 大成建設(株) 喜連瓜破橋大規模更新工事 課長代理 金田 貴洋 作業所長 島田 哲治
	○建災防協進会 安全衛生保護具・機器コーナー 24 墜落・転落災害の防止（荷役作業時の昇降設備） 長谷川工業(株) 技術部 品質保証課 課長 奥田 真孝
	○COHSMS認定 26 前田建設工業(株) 九州支店が新規認定、松尾建設(株)、(株)NIPPO、青木あすなろ建設(株) 大阪本店、大進建設(株)、日本無線(株)、日本国土開発(株)、日本基礎技術(株) 九州支店、(株)奥村組 名古屋支店が更新認定!! 建設業労働安全衛生マネジメントシステムセンター
	○建災防の活動 27 第168回常任理事会・第155回理事会を開催
	○災害事例に学ぶ 31 下水道管破損による新設下水道管敷設工事において、新設したピット内で試験作業中に硫化水素中毒
	○災害統計 32

建災防からのお知らせ

- ◆熱中症！早期発見、重篤化の防止 11
- ◆フリーランス法が2024年11月にスタートしています！ 17

TOPICS

◆令和7年度における建設業の安全衛生対策の推進について（要請）を掲載

建設業の令和6年の死亡災害は226人で、前年より14人増、全産業の3割を占めます（令和7年3月速報値）。

労働災害の着実な減少に向け、今年度取り組むべき事項が何かを把握して、より効果的な労働災害防止対策を進めてください。

◆熱中症対策が強化

令和7年4月15日に、熱中症に関する労働安全衛生規則の改正が公布されました。

現場での熱中症の死亡災害は、ほとんどが「初期対応の放置・

対応の遅れ」にあります。熱中症で亡くなる方を出さないために「報告体制」、「手順作成」、「関係労働者への周知」が義務付けられました。行政の動き7ページを御参照ください。

◆ハラスメント 連載4回目

対応を誤ると、厳しい目が経営者に向けられ、企業の存続に関わるハラスメント。

連日の報道に加え、SNSでは興味本位に取り上げられ、容赦がありません。

ハラスメントの裁判例は、通り一遍の会社の対策に警鐘が鳴らされた事例です。